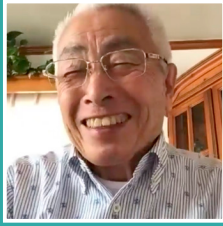


# 委託者のきもち

第1回  
対談インタビュー



委託者  
渡邊 俊治 様



受託者  
小林ゆう子さん



取材 / 文 橋本咲良

「家族信託の話をしたら、両親（委託者）に反対されてしまった」  
「怪しい契約なんじゃないの？と疑われてしまう……」

このようなお声を聞くことは少なくありません。まだあまり認知されていない制度だからこそ当然のことかと思います。

では実際に、子どもから家族信託の話を受けた親は何を思うのでしょうか？  
インタビューを通して、財産の所有者である委託者様に気持ちを伺ってみました。

## 歳を重ねるにつれて感じる不安

**橋本:**ではまず、家族信託という仕組みについてはご存知でしたか？

**渡邊:**いえ、全然知りません。どちらかと言えば、娘にリードされるような感じでした。

**橋本:**そうですね。まだあまり知られていない制度でもあるので、どうだったのかなというところでお伺いさせていただきました。

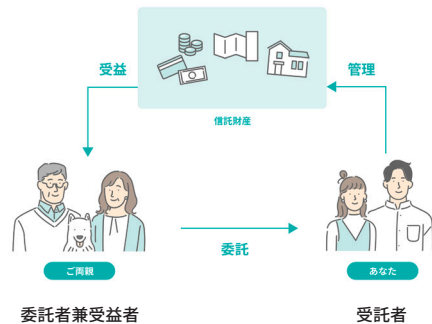
**橋本:**認知症などにより意思能力を喪失してしまうと、銀行口座が凍結されてしまったり、所有している不動産が売却できなくなったり、いわゆる「資産凍結」という状況になってしまうのですが、そういったことについてはご存知でしたか？

**渡邊:**そうですね。長年サラリーマン生活をしてきましたが、歳を重ねるにつれてそういう状況に置かれた知人や友人が出てきましたので、知識としては承知していました。ただ、自分は丈夫なもんですから（笑）私には関係がないという少しオーバーですけど、なかなか我が身に降りかかるといふ風に身に染みて感じていなかったですね。少しずつ不安を感じることは増えてきましたが、事を改めて何か対策を打たなければという思いには至らなかったわけです。

**橋本:**ああ、なるほど。やっぱり人から聞くのと異いざ実際に自分になるのでは、なかなか想像しにくいというか、考えたくないところですね……。

**渡邊:**そうですね、はい。

家族信託のしくみ



## 備えという意味合いで、心強さが加わった

**橋本:**そんな中で、今回ゆう子さんから家族信託の話を受けたということでしたが、家族信託についてお聞きした時どのように感じられましたか？

**渡邊:**「世の中にこんな頼りになる仕組みがあるんだ」と認識しました。

**橋本:**なるほど。ご相談いただくお客様の中には、財産管理をご家族にお願いするということに対して「本当にちゃんと管理してくれるのかな」といった不安を抱えていらっしゃる方や、ご家族の方に反対されてしまうという方もいらっしゃるのですが、ご不安や抵抗感などはなかったのでしょうか……？

**渡邊：**不安や抵抗というよりも「こういうものを利用していけば良いんだ」という気持ちでした。特に、私どもの場合は、子どもが二人で兄の方は心身障害者なものですから。そうすると、頼りになるのは娘一人ということもありますので、組織的に対応していただけることに、心強さみたいなものを感じました。

**橋本：**じゃあ、ご家族様に管理をお願いして、さらに信託をファミトラのような組織がサポートしていくという体制に、安心感や心強さを感じていただけたということですかね。

**渡邊：**そうですね。

**橋本：**けっこうその部分って、人によって違うところだなと思っていて……。

私たちみたいな会社がサポートすることをあまりよく思わないという方もいらっしゃるんですけど、「安心できる」というのを委託者の方から実際に聞けると私たち自身もすごく嬉しく思います。

**渡邊：**ひとつよろしくをお願いします！（笑）

**橋本：**ありがとうございます！（笑）

**小林：**あとさ、値段とかもどうだった？値段。費用。

**渡邊：**値段はもっと高額でないかと思いましたが、程々に、頃合いの値段だったので、良かったと思っています。格安ですよ（笑）

**橋本：**ありがとうございます。

費用については、業界の中でもなるべく多くの方に利用してもらえそうな価格で提供したいというのが私たち会社として目指しているところなので、そのように言っていただけですごく嬉しく思います。

**渡邊：**今は「人生100年時代」だなんて言われていますけど、やっぱり年齢を重ねますとね、自分の判断能力や体力も衰えたりして、そういう不安感がこれからだんだん募るんだろうと思うんです。それに対する備えという意味合いでも、新たに心強さが加わって安心しています。



## 「抵抗感」よりも「安心感」を得ることができた

**橋本：**家族信託の話を進めていく前に、これまでご家族様で将来の資産管理や認知症対策について話し合ったことはございましたか？

**渡邊：**そうですね…… 息子が2ヶ月おきに障害者年金をもらっているのですが、家内が将来を心配して息子名義の預金通帳を作っていました。ですが、蓄えっぱなしで引き出したり、運用したりすることもなく、どうしていくか悩んでいたところだったんです。

そういうことについても、今回の信託を機に考えることができました。家内に任せっぱなしだった部分も、二人で共通認識を持てるような機会になりましたし、良かったと思っています。現金収入と、土地と、積み立てている財産と、家中のものを洗いざらいにして整理できて、しかもそれを、ファミトラさんがサポートしてくれることにより、組織だった蓄えになったような安心感を得ることができました。

**小林：**所有権が私になるじゃん？私はさ、それを言う時が一番ドキドキしたんだけど、その時はどうだった？

家族信託をしなけば、亡くなるまで所有権を移さなくても良いわけじゃん。でも、信託することによって、管理をする私に所有権を移さなきゃいけないっていうところで、たぶん嫌な人もいると思うんだよね。

「俺の財産だ！」みたいな感じで、自分が作った財産じゃん。その所有権が子どもにいつか譲るのが嫌かなって思ったの。そこは大丈夫だった？そこがネックになっちゃうご家族もいるのかなって思うけど、そんなことないですか……？

**橋本：**そうですね。今お話しした通りで、自分の名義のご自宅とかが子どもの名義に変わってしまうところに抵抗感を覚える方はすごく多くて……。

なので、委託者の方からすると嫌な気持ちとかがあるのかなと思っていたのですが、渡邊さんの場合、あまりそういった抵抗感はなかったわけですね。

**渡邊：**なかったです。それよりも安心感ですかね。

話が違いかもしれないけれど、うちの場合は身障者の息子がいるものですから、息子が亡くなるのを見届けないと、自分たちは死ねないという風に思っていました。

ですが、そういうところも含めて、今回家族信託によって対策することができて安心しています。

**橋本：**ありがとうございます。じゃあ、名義が家族に移ることへの抵抗というよりかは、お兄様のことだったりとか、今後のご家族様の将来とかを考えて、安心できる形になることへの嬉しさというか、ホッとする気持ちの方が大きかったということですね。

**渡邊：**そうですね。安心感というところがね。

**橋本：**うんうん、なるほど。



## 公的な契約になるという体験

**橋本：**公証役場でのお手続きはいかがでしたか？  
緊張するという方もいらっしゃるのですが、率直にどう感じられたか  
お伺いできればなと……。

**渡邊：**多少の緊張感はあるけどもね。公証役場に行って手続きを  
することによって、この契約が初めて公のものとなると。本格的  
なものになると。そういう風な体験をしました。  
御社との関わりも明確になりましたし、これにより書面上で孫が  
全員名を連ねましたので、結束が固まって良かったと思ったりも  
しています。

**橋本：**なるほど。正式な書類になる安心感みたいなものがあつた  
ということですね。

**小林：**あとさ、公証役場で何回も「娘さんが不正を働かないよ  
うにファミトラが監督します」っていうのを読んでくれたから、  
それも良かったかも（笑）なんかやっぱり、一回は公証役場のよ  
うなところに行かないと、契約をした感じがしないよね。

**渡邊：**そうそう。硬いところにね。やけに硬いところ。（笑）

**小林：**一回は行って良かったよね。

**橋本：**そうですね。  
私も他のお客様のお手続きに同席させていただいたことがあるん  
ですけど、公証人の方の前で読み合わせをしたりして、全員で同  
意することによって「本当にちゃんとした契約なんだな」という  
実感も湧きますよね。  
公正証書化って絶対にやらなくてはいけないものではないのです  
が、やっぱり必要だなと私も思います。

## これからは夫婦だけでなくファミトラがいる

**橋本：**もう契約手続きは終わったかと思いますが、家族信託をや  
る前と後で変わったこととかはございますか？

**渡邊：**すっかり安心してありますよ（笑）  
組織的にサポートしていただけるということが心強いですよね。  
それまではなんとというか、私達夫婦だけが一生懸命頑張らなくて  
はいかんといい風に思っていたので。

それに、今後は御社という組織が信託監督人をして監督してくだ  
さるといふ点で非常に安心してあります。

**橋本：**ありがとうございます。  
まだあまり歴史が長い会社というわけではないので、ファミトラ  
が大丈夫なのかみたいな、そこが不安だという方も中にはいらっ  
しゃるんですけど、そういう風に思っただけ嬉しく思います  
。

**渡邊：**発足してまだ加盟会員が少ないということであるならば、  
私どものためにも、どんどん発展してもらわないと（笑）そうい  
う意味でも、気持ちの面で大いに支えていかなきゃいかんと思っ  
ております。

**橋本：**本当にありがとうございます。  
今いただいたお言葉通りで、弊社で家族信託を締結してくださ  
っているお客様達の安心感を大きくしていくためにも、私達がよ  
り頑張らないといけないと思います。

## 家族信託は、安心感を感じられるもの

**橋本：**では最後に、今実際に家族信託を検討しているような方に対  
して、委託者目線でのアドバイスなどがあればお伺いしたいです。

**渡邊：**やはり家族信託は、すごく安心感を感じられるものだと思  
いますね。  
また、頼りになりそうな組織ですから。心置きなく信頼してい  
こうと思っています。  
将来も含めて財産の管理をお願いしているんだもの。なので、安  
心感が増大するように、引き続き組織として繁栄していただけれ  
ばと思っています。よろしく願います！（笑）

**橋本：**すごく良いお言葉をいただき本当にありがとうございます。  
私達も、安心感をより増大していけるように引き続き頑張ります  
し、頂いた貴重なお言葉を今悩みを抱えている方々に伝えて、ど  
んどんファミトラを大きくしていきたいと思っております！

**渡邊：**よろしくどうぞ！

渡邊さん・小林さん

貴重なお話をお聞かせいただき本当にありがとうございました！



# ファミトラ

家族の資産にあんしんを

家族信託に関するお悩み・ご相談・お問い合わせはこちらまでお願いします。



**0120-622-044**

受付時間

月曜日～日曜日  
9:00～18:00